

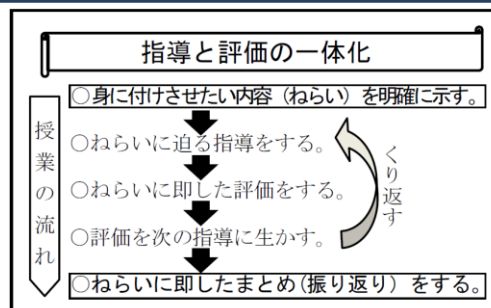
よりよい「体育授業」を目指して

～体育授業改善のポイント～

◎すべての児童・生徒に等しく、確実に保障されている運動の時間「体育授業」。
この貴重な時間を活かしましょう！

I ねらいの明確化

- 本時は児童・生徒に何を身に付けさせたいのかを明確にしている。
- 一貫して、ねらいに即した指導と評価をくり返している。
- 事前に、授業における教師の指導（発問、言葉かけ、個に応じた指導等）をシミュレーションしている。



II 「慣れの運動」の重視

- 主運動につながる運動を厳選している。
- 主運動とのつながりを理解させ、目的意識、必要感、切実感を持たせながら丁寧に指導している。
- 運動量を確保しながら、質の向上に努めている。

III 「学び合い」の指導

- 「学び合い」の目的を明確にしている。
- 具体的な「学び合い」の姿を示し、丁寧に指導している。
- 「学び合い」の際に学習資料を使用する場合には、その実際の活用の仕方を具体的な姿で示し、丁寧に指導している。

IV 思考を促す「発問」

- 本時のねらいに迫る発問をし、考えさせ（時には実際に動き、試しながら）、気付かせることで児童・生徒の「わかる」「できる」を保障している。
- 単元を見通して、児童・生徒に教えること（教え込むこと）、児童・生徒に投げかけ気付かせることを、バランスよく計画し、主体的な学びを促している。

V 本当の楽しさ体験

- 各種運動の本当の楽しさを味わわせるために、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能」をバランスよく育めるような単元計画を立てている。
- 児童・生徒の活動を見取り、その努力や伸びを温かく認め、指導と評価をくり返している。

～「わかる」「できる」「かかわる」体育授業を～